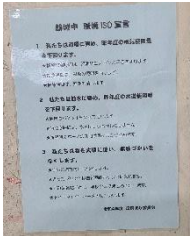





令和4年度（2022年度）学校版環境ISOへの取組

＜ 学校名：宇土市立鶴城中学校 ＞

1 取組の概要報告

（1）取組の概要

項目	活動の様子（写真）	取組の実際
宣言		<p>昨年度の宣言項目を見直し、本年度も全生徒、全職員で、無理なく無駄なく継続できる取組を実践することにした。</p> <p>決定した宣言は、各クラスや職員室等に掲示し、いつでも内容を確認し、意識を高められるようにした。</p> <p>掲げた宣言は、1 ページ目の実施計画の通りである。</p>
行動		<p>ゴミの回収は、各階ごとの回収当番がその階の全クラスを回り、収集場所へ持ってくる。それをまた、ひとつの袋にまとめゴミ袋いっぱいになってからごみ置き場に出すことを心がけている。ゴミ袋がいっぱいになっていない場合は、翌日に持ち越し、常にいっぱいにして出し直しをしている。職員室で出る一番のゴミは紙類であるが、裏紙として使えるものは活用し、使用できない用紙は、シュレッダーにかけて資源ゴミとしてゴミ収集に出してリサイクルに努めている。</p> <p>環境ISO委員会と保健委員会が協力し、休み時間の換気を徹底するようにした。また、各教室のエアコンにエコウィンフィルターをつけコロナウイルス対策を行った。ドアや窓をどの程度開けるかの目安も掲示し、全校生徒のウイルス対策への意識が高まった。</p>
記録		<p>環境ISO委員会では、給食準備中の教室の黒板灯の消灯、掃除中の教室電気の消灯チェックをして回り、チェック表に記録している。消し忘れていたクラスは放送で発表し、節電への意識向上を図っている。また、消灯の徹底ができていたクラスは表彰を行った。</p> <p>保健委員会では、トイレトーパー、石鹸などの管理を行いどのトイレの使用率が多いかチェックしている。無駄遣いがないように、予備のトイレトーパーの個数も決めている。</p>
見直し		<p>電気料金・水道料金の高騰に伴い、料金が増加傾向にある。それに加え、エアコンの導入により、夏や冬の電気料金が高くなっていると考えられる。だからこそ、できる限りの節電節水を心がけ、電気や水道の使用量を少しでも減らせるような取組を取り入れていく必要がある。その取組の1つとして、バケツの内側に線を引き、最小限の水を使用するなどの工夫を行っていきたい。</p>

（2）成果と課題

成 果	課 題
<p>○生徒会執行部を中心に美化委員会・環境ISO委員会・給食委員・保健委員・奉仕委員など、各委員会と連携して取り組むことができています。そのため、どの宣言項目も生徒が意欲的に取り組み、成果を出している。</p> <p>○職員室内では、ミスプリントの裏紙の再利用やゴミの分別を行うことで資源を活用し、大幅にゴミの量が削減された。また、事務用品も詰替を進んで使用するようになるなど、職員のエコ意識も高まっている。</p>	<p>●環境ISOの取組に対する意欲を高めるために、達成状況を放送や、クラスマッチを行うなどしているが、取組の強化が行われていないときに意識が薄れる傾向があるため、意欲を維持させるような工夫を図る必要がある。</p> <p>●夏、冬ともにエアコンの使用で、電気使用量が増える傾向にある。設定温度の徹底等で、節電につなげたい。</p> <p>●環境ISOの取組により、無駄な電気使用の削減を実行できているが、今後の努力点として、職員室内での終業後、掃除中や休日の冷暖房の使用などにも目を向ける必要がある。</p>